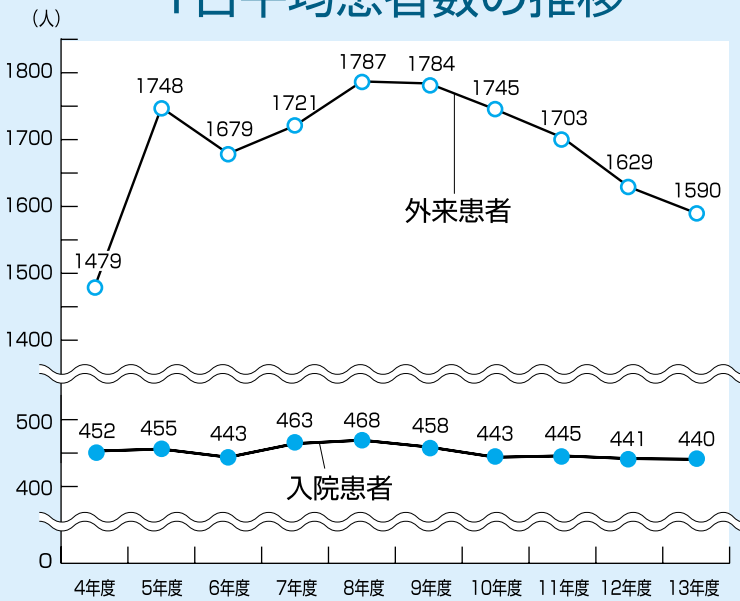
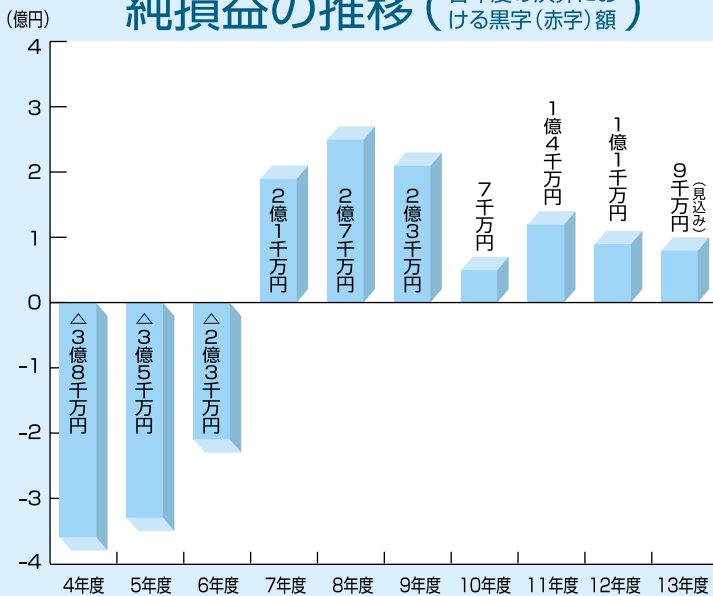


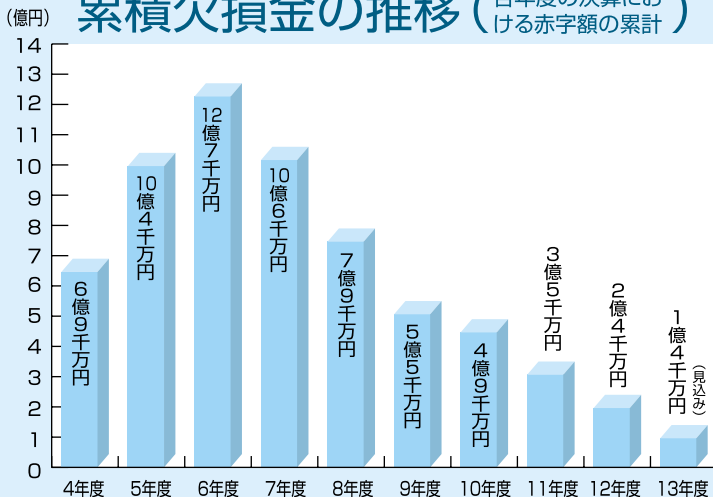
1日平均患者数の推移



純損益の推移 (各年度の決算における黒字(赤字)額)



累積欠損金の推移 (各年度の決算における赤字額の累計)



看護師・准看護師266人、薬剤師・放射線科技師など68人で、その他事務職員を含め合計409人（本年5月1日現在常勤職員）が24時間体制で病院運営にあたっています。

平成13年度の外来延べ患者数は約39万人（1日平均1,590人）、入院延べ患者数は約16万人（1日平均440人）と全国的にみても患者数が多く（同規模病院比較）、救急患者数も年間1万人を超えています。

経営の安定

病院の経営は国の医療施策に大きく左右され、医療費も病院単独では決定できない制度になっています。しかし、市民の皆さんの安



心と満足の得られる医療を行うためには、経営の安定が不可欠です。市立総合病院でも、平成6年度末には累積欠損金が約12億7千万円、不良債務が約5億6千万円と経営上極めて厳しい状況にあり、平成7年には国から病院事業経営の健全化団体の指定を受けました。このため、職員一丸となって経営改善に取り組んできました。具体的には、医事業務の外部委託や職員手当の削減などの経費の節減を行うとともに、カーテン、ベッ

ドなどの病室の改善も積極的に進め、わずか2年で経営の健全化を達成しています。

その後、病室などへの冷房装置の設置、情報システムへの導入、病棟クラークの配置、高度医療機器の整備など質の高い医療の提供と患者アメニティのための改善施策を着実に実施しています。

平成7年度からは毎年黒字決算を続け、累積欠損金も昨年度末には約1億4千万円に減少する見込みです。